

学習内容報告書 フォーマット

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	今野那菜（1年担任）阿部秀憲（2年担任）齋藤卓弥（2年特支学級担任） 早坂峻（3・4年担任）齋藤咲花（5・6年担任）

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海に親しむ「たっぷり海で遊ぼう・浸ろう」

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活・理科・総合的な学習・体育

1-4. 単元の概要

- ・海の観察……海の色や波の様子、潮の満ち引きの様子を観察し、季節の変化に気付く【生活・理科・総合】
- ・磯遊び・磯の生き物探し……磯に生息する生き物を探したり、捕まえたりする。捕まえた生き物は、飼育観察する。砂遊びや波遊び、シーグラス探しなど海での遊びを楽しむ。【生活】
- ・着衣泳体験……外部講師を招き、浮いて待つ体験や着衣のまま泳ぐ体験をする。【体育】

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、旧雄勝町全域（雄勝半島全域）が学区であり、震災による被害が非常に大きかった地域である。徐々に復旧が進んでおり、学校前に砂浜が、近隣や学区内の各所には漁港や防潮堤が整備されている。養殖漁業や沿岸漁業も活気を取り戻しつつあり、多くの人々が子供たちに「ふるさとを愛する心情をもってほしい」と願っている。身近な海をフィールドにした体験活動と探究活動を通して、主体的で深い学びへと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育てていきたいと考えている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動を、継続的に実施することで、様々な問いや疑問が生まれ、探求的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで、雄勝を誇りに思う気持ちが少しずつ育まれ、ふるさとを愛する心情の育成が期待できる。
- ・身近な海を見る多様な視点や感じる心情を育てていくことで、行動しようとする意欲が高まり、海との関りの中で自分にできることを考えようとする心情が育まれると期待できる。

1-7. 単元の展開（全14時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 時数なし	<p>海の観察</p> <p>◇学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつ。</p> <p>①海の様子を観察する。</p> <p>②観察で気付いたことや疑問に思ったことなどを友達と話し合う。</p> <p>③関心をもったことを各自で調べる。</p>	<p>【活動時期 通年】</p> <p>準備 (双眼鏡など)</p> <p>指導 観察している子どものつぶやきをとらえ、全体へと広め、関心をもたせる。</p> <p>評価 学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつことができたか。</p>
2	<p>磯遊び・海の生き物探し ～春～</p> <p>◇学校前浜の磯や生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって磯の様子や生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①磯や生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、磯遊び、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 4～5月】</p> <p>準備 ライフジャケット、救急セット</p> <p>指導 ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p>評価 学校前浜の磯や生き物の春の様子について関心をもち、予想を立て確かめようとしていたか。季節によって磯や生き物の様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
4	<p>磯遊び・磯の生き物探し ～夏～</p> <p>◇学校前浜の磯や生き物の夏の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって磯の様子や生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①磯や生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、磯遊び、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 6～8月】</p> <p>準備 ライフジャケット、救急セット</p> <p>指導 ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p>評価 学校前浜の磯や生き物の夏の様子について関心をもち、予想を立て確かめようとしていたか。季節によって磯や生き物の様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p>着衣泳体験</p> <p>◇体験を通して、水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付く。</p> <p>①海の事故と着衣泳の重要性について知る。</p> <p>②水に浮く体験をする。(ライフジャケット着用)</p> <p>③水に浮く体験をする。(ライフジャケット無し)</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 8月】</p> <p>準備 ライフジャケット、救急セット</p> <p>外部 水難学会指導員、保護者及び地域協力者</p> <p>指導 外部講師より海の事故と着衣泳の重要性について説明を受けた上で活動に入る。教員及び活動協力者は、児童の活動補助にあたる。</p> <p>評価 水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付くことができたか。</p>

2	<p>磯遊び・海の生き物探し ～秋～</p> <p>◇学校前浜の磯や生き物の秋の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気問屋水温など、季節によって磯の様子や生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①磯や生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物探しをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 9～11月】</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校前浜の磯や生き物の秋の様子について関心をもち、予想を立て確かめようとしていたか。季節によって磯や生き物の様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p>磯遊び・磯の生き物探し ～冬～</p> <p>◇学校前浜の磯や生き物の冬の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって磯の様子や生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①磯や生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 12～2月】</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校前浜の磯や生き物の冬の様子について関心をもち、予想を立て確かめようとしていたか。季節によって磯や生き物の様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p>砂やシーグラス、漂着物を使った造形遊び</p> <p>◇浜で見つけた自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができる。</p> <p>①収集した自然素材から作品のイメージをもつ。</p> <p>②造形遊びに取り組む。</p> <p>③完成した作品を紹介しあう。</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p>【活動時期 年間を通して】</p> <p><b>準備</b> シャベル、バケツ など</p> <p><b>指導</b> 磯遊び・生き物探しで収集した素材を活用させる。流木やシーグラスなど見つけたものを利用し、自由な発想で造形遊びに浸らせ、完成後は互いに鑑賞する時間を設ける。</p> <p><b>評価</b> 漂着物などの浜で見つけた自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができたか。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目


### 2-2. 本時の目標

- ・学校前浜の磯の様子や生き物の様子に興味をもち、予想をもって観察に取り組もうとする。
- ・季節によって磯の様子や生き物の様子に違いがあることに気付く。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 浜活動の準備を整え、移動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフジャケットを着よう。うまく着られない。手伝ってあげよう。</li> <li>・カニをつかまえよう。水槽を持っていこう。</li> <li>・水は冷たいかな。</li> <li>・何が見つかるかな。</li> <li>・みんな、気を付けて歩こう。</li> </ul> <p>2 浜でオリエンテーションを行い、めあてや留意事項を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>夏の海を観察しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海の様子はどうか</li> <li>○生き物はどうか</li> <li>○安全に活動しよう</li> </ul> </div> <p>3 浜活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の色がきれいだね。</li> <li>・水に入ると足が気持ちいいよ。</li> <li>・足が砂に沈む。</li> <li>・カニがいっぱいいるよ。</li> <li>・海藻ですべりやすいよ。</li> <li>・丸い石がいっぱいだ。</li> </ul>	<p>教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全のためライフジャケットを着用させる。長靴もしくはビーチサンダル、濡れてもよい靴を履き、水辺で活動できるようにする。</li> <li>・救急用品、温度計、カメラ、水槽、ループ等を教師は持参する。</li> <li>・担任、養護教諭等、複数の職員で指導する。</li> </ul> <p>・前回の春の浜活動を想起させ、学校前浜に着いた時点で気付いた海の変化について発表させる。</p> <p>※海の色や空の様子、気温の変化など、前回の浜活動と比べながら変化に気付くことができたか。</p> <p>（発表）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動範囲</li> <li>・一人で離れない</li> <li>・滑りやすい場所がある</li> <li>・危険なものが落ちていることがある</li> </ul> <p>など、安全に活動するように確認する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物を見つけたときには、水槽に入れ、学校に戻ったら調べようと声掛けする。</li> <li>・よい気付きをアナウン</li> </ul>



<p>4 浜で活動の振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>気付いたことや感想を発表してください。 捕まえた生き物や見つけた物は、みんなに見せてください。</p> </div> <p>5 学校に戻り、後片付けを行う。</p>	<p>スし、気付きを多くの児童に広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• けがの有無等、安全に活動できたか確認する。</li> <li>• 児童全員に発表させる。児童が発表していないよい気付きや場面があれば、教師が児童の発言を補足する形で話す。</li> <li>• ライフジャケットや履き物を水洗いし、乾燥させる。低学年等、身の回りのことが難しい児童には支援を行う。</li> </ul> 
--	--

### 3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 潮汐の様子を調べ、活動に適した日に活動を実施することができた。</li> <li>• 児童は、カニをたくさん捕まえることができた。水槽に入れて大切に教室に持ち帰り、愛着をもって観察していた。</li> <li>• 海草や面白い形をした流木、シーグラスなど、漂着物にも関心をもち採集しており、今後の活動に向けて児童の観察の視点を広げることができた。</li> <li>• ルーペを準備することにより、生き物や砂、岩など、身近なものをより詳しく観察しようとする気持ちが高まり、充実した活動につなげることができた。</li> <li>• ライフジャケットの着用等、安全面に配慮し、複数の教師で指導に当たることで、児童は安全に楽しく活動することができ、海への興味関心を一層高めることができた。</li> </ul>
--

### 4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海をフィールドとした活動は、低学年から高学年まで継続的に実施していることから、児童は浜活動に高い意欲をもっており、海への興味関心は高い。しかし、指導者確保の観点から複数学年もしくは全校で活動することが多いため、学年や発達段階に応じた指導につなげにくい。学年ごとの振り返りを実施するなど、発達段階に応じた気付きを促し、探求活動につなげていく方法を考える必要がある。</li> <li>• 浜辺での活動が中心であり、生き物についてはカニが主である。海中の生き物が採取できると、さらに海の生き物への興味関心が広がると思われるので、海中の生き物の捕獲やプランクトンの採取など、児童の視野が広がる活動を工夫していく必要がある。</li> </ul>
--

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校は、校庭から徒歩数分で砂浜に到着できる立地にあることから、移動手段は徒歩であり、移動時間は考慮しておりません。</li> </ul>
---

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm